

# ●1分で見える世界景気／2015年10月後半から見た11～12月の動向

※中国減速、米国利上げの新たな大波を前に、日本は緩和マネー（欧州、中国、日本）をうまく取り込めるか？

**欧州**

内需は底堅いが、  
中国+新興国不安が増大

●欧州中銀  
・追加緩和を示唆

ポルトガル等では住宅ローン  
がマイナス金利のケースあり

ドイツ頼みがどこまで続くか？

**中国**

●追加金融緩和  
政策金利0.25%下げ

・預金金利上限撤廃  
・GDP7-9月  
実質6.9%、名目6.2%

透明性確保できるか？  
既にデフレか？

**米国**

●景気好調だが、FRBの利上げ12月以降か？

・9月雇用 +14.2万人 好調の指標である20万人届かず！  
・9月完全失業率5.1%  
・9月住宅着工は市場改善へ／賃貸物件急増

大統領選を控え、中国関係緊迫へ

利上げ先送りでFRB動向が不安要因へ

**新興国&資源輸出国**

●マレーシア/来年度予算で景気底上げ狙う  
●タイ/内需ふるわず  
●フィリピンGDP2015年見通し 6.2%→5.2%

中国景気減速、米国利上げ観測に景気不振が続く  
各国とも中国、米国の影響をどこまで最小限に  
抑えられるか？

**日本**

●景気足踏み、後半は緩やかな回復基調？  
・好調な雇用と企業決算を活かすことができるか

●緩和で時間稼ぎ  
→アベノミクス  
第二幕開くか？

- 雇用は堅調
- ガソリン下落
- 企業業績の好調  
／小売、製造業、建設
- 中国景気減速
- 爆買い
- TPP
- 地価上昇(二極化)

・日銀が金融緩和？  
・政府の経済対策？  
脱中国と内需創造を進められるか

